

本市では、運動する日も、しない日も、誰もが気軽に立ち寄れる「まちの拠点」として、これまでにない新しい体育施設の整備を目指し検討を進めています。

今回は、令和7年11月に策定した基本構想のご紹介です！

Topic01 多賀城市スポーツウェルネス施設整備基本構想

基本構想では、コンセプト（基本理念・基本方針）を定めるとともに、前提条件や想定される機能及び課題等について整理を行いました。

多賀城市スポーツウェルネス施設整備基本構想【概要版】

1 基本構想策定の背景と目的

(1) 基本構想策定の背景

・施設整備は令和4年、市民ニーズは令和7年に開催し、施設の老朽化が課題な課題です。

・市民プールについても令和11年（小学校6年、中学校4年）それぞれの屋外プールが第30年以上経過しており、設備の更新には多額の費用が必要です。

・これまでも、令和6年3月に「多賀城市公共施設等総合計画」を実施し、総合的な考え方のもと、総合体育館及び市民プールは、小中学校プールの段階の廃止と併せて、市内中央区への移転を検討することにしました。

(2) これまでにない新しい「体育施設」を目指して

・スポーツ自習室の導入により、より多くの人々が気軽に施設に立ち寄れることが可能になります。

・そのためには、既存の施設を持つていて施設の維持にどうぞ、より多くの人々が気軽に施設に立ち寄れるよう、様々な利用形態について柔軟的・柔軟的に対応する必要があります。

・そこで市では、新しい施設として、スポーツクラブ等、施設と併せて、これまでにない施設を目指すことを目指します。

(3) 基本構想策定の目的

・コンセプト・基本理念・基本方針をまとめるとともに、前提条件や想定される機能及び課題等について整理することを目的に策定します。

2 基本理念・基本方針

(1) 基本理念（メインコンセプト）

「運動する日も、しない日も。」

SWing! Tagajo

■ SWing! (スイング)
Sports and Wellnessが常に実践されている(being)場所。そして、Well-beingな暮らしを実現する場所を目指したいと考え、「SWing!」としました。

(2) 基本方針（サブコンセプト）

方針1 体育施設でありながら、その特に留まらない新しい「スポーツウェルネス施設」

方針2 いつでも、どんな人でも楽しく遊び inser 場所、もしもの時に頼れる「安心の場」

方針3 多賀城ならではの魅力を創出し、世代を超えて未来に繋がる「まちのシンボル」

公共の通機場による基本的な考え方
※原則、市民利用を想定して構成する。
○複数化・多目的の利用・複合化による施設の複合化や多目的利用を想定し面積を広げる
○既存施設等の利用の視点・学校施設の活用による施設の充実
○一部施設の民間民営化の視点・民間による運営が可能な部分は民間民営化の民間民営化

4 想定される機能等の整理

(1) 想定される機能等の整理

①施設を想定する上の基本的な考え方

○複数化・多目的の利用・複合化による施設の複合化や多目的利用を想定し面積を広げる

○既存施設等の利用の視点・学校施設の活用による施設の充実

○一部施設の民間民営化の視点・民間による運営が可能な部分は民間民営化の民間民営化

②体育施設として求められる施設の整理

○大体育室・体育館（アリーナ）

○多目的体育館（複合施設）

○弓道場（近道）

○柔道場（近道）

○多目的・複合施設

○温水プール

○トレーニング室

○室内温水プール

○温水プール

○温水プール</p